

令和元年度 徳島大学全学FD推進プログラム

「大学教育カンファレンス in 徳島」プログラム

会期：令和元年12月26日(木) 会場：徳島大学教養教育4号館 等

受付 <教養教育4号館2階ホール>

9:00~9:15 学長挨拶 野地 澄晴 <教養教育4号館202講義室> 司会：川野卓二

口頭発表A 9:15~10:15

- ① グラフィック・ファシリテーションによる対話の促進の可能性
- ② 「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」への徳島大学の対応状況
—学修者本位の教育への転換に関連した具体的な方策を中心に—
- ③ 実務家教員との協力による地域連携教育の実践
—総合科学部COC+プログラムの講義を事例に—

口頭発表B 9:15~10:15

- ① 徳島大学における学習支援Study Support Spaceの充実に向けて
~運営する学生サークルにできること~
- ② 工学教育への指針~未来志向の工学教育~
- ③ プラスチック環境問題を共通テーマとする多面的アクティブラーニング授業の試行

口頭発表C 9:55~10:15

- ③ 徳島大学における「授業設計ワークショップ」の成果と課題

ワークショップA

■ オンライン電子ふせんツール「APISNOTE(エイピスノート)」を活用したワークショップの体験

ワークショップB

■ Moodleにおける数学学習評価手法について

ポスター発表

- ① 中学生を対象にしたデザイン思考教育の効果
- ② 大学生の視点に立った教育環境についての検討
~メトロポリア応用科学大学(フィンランド)の新キャンパス視察より~
- ③ 歯科補綴学授業におけるアクティブラーニングの学修効果
—反転授業とTBL、通常授業の比較—
- ④ 歯科補綴学(II)実習における実習書改定後の検討
- ⑤ ソーラーカーボディの空力解析
- ⑥ 装置設計・製作を取り入れた化学分野における導入教育の開発
- ⑦ 実践して学ぶAI/IoT技術
—公開講座「AI/IoTセンサのしくみを知ろう」—
- ⑧ 教えることによる学びを活用した大院連携実験出張講義の実践
- ⑨ Intercultural Popular Culture Classes
日本人と留学生のためのポピュラー・カルチャー授業
- ⑩ 質問作りの実践報告
—主体的な学びのために—
- ⑪ 留学生の日本文化理解への効果とニーズ
~日本文化スタディツアーより~
- ⑫ 徳島県と徳島大学の合同進学セミナーの実施と今後の展開
- ⑬ 徳島大学イノベーションプラザにおける学生プロジェクトの活動
~教学 IRによる教育の質保証を目指して~
- ⑭ 高大社接続を踏まえたキャリア教育の現状分析と改善に関する考察

口頭発表D 14:10~15:30

- ① グローバル人材育成のファースト・ステップ
マレーシア短期研修の事例
- ② 徳島大学における入学前学習の効果
- ③ 徳島大学におけるリメディアル教育(生物学)
- ④ 理工学部応用理数コースが行ってきた高大接続授業
—理数探究型学習に際し—

口頭発表E 14:10~15:30

- ① アクティブ・ラーニング普及を目指した教育改革とその成果:
全学初年次教育「SIH道場~アクティブ・ラーニング入門~」を通じて
- ② SIH道場に基づくALの取り組み効果について
—社会基盤デザインコースの事例より—
- ③ 保育者養成校の短大生に専門性を意識づける「保育者論」の授業のあり方
~アクティブ・ラーニングを取り入れて~
- ④ 社会人基礎力を意識した電気技術イノベーション実習の取り組み

特別講演

司会：川野卓二
<4号館202講義室>

演題：「教育データの利活用とエビデンスに基づく教育の実現にむけて」

講師：緒方広明先生(京都大学 学術情報メディアセンター 教授)

グラフィック・ファシリテーター：玉有朋子(学長企画室)

自由参加型ディスカッション

(テーマ:講演に対する質問や日常の教育活動を進めるうえで困っていること)

18:20~20:20 情報交換会 <徳島大学生協食堂2F「Kirara」>